

医療法人社団 英明会

大西脳神経外科病院

先進的「血管内治療」を推進。
救急搬送から回復期ケア、
啓発活動まで包括的に取り組む

脳疾患に特化した専門病院として兵庫県東播磨地域で認知されている大西脳神経外科病院。先進的な「血管内治療」を推進するなど、患者にとつて的確な治療が施される。救急搬送から治療後のケア、啓発活動まで包括的な取り組みがされている。



救急隊と連携し、
先進の治療法を推進

兵庫県明石市、加古川市、神戸市西区周辺の人口約100万人の地域で、365日24時間体制で脳疾患の治療を行っているのが大西脳神経外科病院だ。救急隊と連携し、的確な救急搬送ができる「プレホスピタルレコード」を早い時期から導入。待たなしの急性期の脳卒中に対応し、地域住民からの信頼



脳血管内治療手術の様子/ハイブリッド手術室とスタッフの充実により、24時間365日、脳血管内治療専門医による対応が可能。先進的な技術やデバイスを積極的に取り入れている。

主な手術症例数 (2018年1月~12月)

脳卒中治療総数	1472件
● 血栓溶解剤t-PA	65件
● 血管内治療手術	255件 (t-PA8件は除外)
● 開頭手術	195件
脳動脈瘤	138件
破裂脳動脈瘤の手術総数	42件
● 血管内治療手術	37件
● 開頭手術	5件
未破裂脳動脈瘤の手術総数	96件
● 血管内治療手術	63件
● 開頭手術	33件
頸動脈狭窄症の治療総数	79件
● 頸動脈ステント留置術	75件
● 頸動脈内膜剥離術	4件
脊椎・脊髄変性疾患・外傷性脊椎損傷	127件

脳血管撮影装置が導入されたハイブリッド手術室で、血管内治療を実施している。脳血管内治療科主任部長の大西宏之医師は、

を得ている。

脳卒中の治療でここ数年、めざましい進歩を遂げているのが、「血管内治療」だ。体内にカテーテルを入れて操作し、詰まった血管を回収する血栓回収術、またコイルやステントなどの治療具を入れて脳動脈瘤の破裂を未然に防ぐ脳動脈瘤塞栓術などの治療が行われる。



理事長・院長
大西 英之

おおいひでゆき / 医学博士。奈良県立医科大学臨床教授。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

同院では2016年に専門医3名を中心とした「脳血管内治療チーム」を結成、現在は5名で



理事・副院長
脳神経外科主任部長
久我 純弘

くがよしひろ / 医学博士。近畿脊髄外科研究会世話人。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

「血管内治療は開頭手術では難しかった場所へも対応できますし、もちろん人体への負担も少ない。患者さんにとつてメリットが大きい治療です。」と語る。最近、正常な血管にステントを入れ大きな脳動脈瘤を血栓化する治療、フロードバイパステ

ント治療が注目されているが、近い将来、この治療も実施予定だ。患者にとつて有益な先進的な治療を積極的に導入していくのが同院の理念である。



脳神経外科部長
脳血管内治療科主任部長
大西 宏之

おおいしひろゆき / 医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医。

また、再発を防ぐために治療後の定期検診を丁寧に行い、栄養指導、生活習慣指導などを合わせたアフターフォローをキメ細かく実施している。

脳卒中の症状は症例によって多様性に富む。副院長の久我純弘医師は、「脳動脈瘤は大きさや形状によつて、従来の開頭式クリッピング手術の方が、合併症が起きず治療効果が高い場合がありま

「治療法が進歩しても、脳卒中で大事なのは、予防と早期治療です。当院では国立循環器病研究センターと協力して小学校での啓発授業を行ったり、市民公開講座を開催して脳卒中の予防を訴えています」と語る。先進的な治療技術と設備が整っていることはもちろん、救急搬送システム、リハビリ期までのケア、そして啓発活動まで、脳疾患を包括的かつ細かく治療する、地域の頼れる存在である。

回復期からその後の通院まで、
キメ細かいアフターフォロー

脳卒中の治療は術後のケアも重要だ。同院で



HOSPITAL DATA
医療法人社団 英明会
大西脳神経外科病院

〒674-0064
兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.078-938-1238
http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

- 理事長・院長 / 大西 英之
- 診察受付時間 / 8:30~11:30
13:30~16:30
- 休診日 / 土曜・日曜・祝日・年末年始